

地域資源利用学特論 I (2単位)

担当者氏名 中村好男 三原真智人

◆学習・教育目標

河川流域内での水循環に基づいた水資源の有効利用と地域における資源利用調整工学のあり方ならびに農村地域における水利資産の環境保全機能について検討する。さらに、農業用水資源を利用した再生可能エネルギーの開発と農村振興方策について習得する。併せて、農業生産域における土壌保全対策について理解を深めるとともに、土壌保全を通じた水環境保全対策を習得する。講義を通じて農業農村の多面的機能について具体的事例を取り上げて検討し、その機能の評価手法を身に付けることを学習・教育の到達目標とする。この科目は、必要に応じてバイリンガル（日本語と英語）で実施する。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

<u>流域水循環</u>	<u>土地及び水資源利用</u>	<u>資源利用調整</u>	<u>農業農村の多面的機能</u>
<u>再生可能エネルギー</u>	<u>農村振興</u>	<u>水環境保全</u>	<u>地域保全評価手法</u>

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	地域資源の賦存形態	世界と日本の水資源特性	・農村・農地・水資源・エネルギーと地域環境に関する現代的テーマを学習するので、今日的農業動向やエネルギー問題を把握しておくこと。 ・国内のみならず海外の事例を取り上げて、幅広く授業を進めていく。
2	水資源の循環と利用	流域の水循環の形成と利用特性を検討する。	
3	地域資源利用調整手法(1)	地域資源利用調整工学の役割を考究する。	
4	地域資源利用調整手法(2)	地域資源利用調整工学の役割を考究する。	
5	地域資源と農村環境(1)	河川水利用と農村環境について検討する。	
6	地域資源と農村環境(2)	ため池利用と農村環境について検討する。	
7	地域資源と都市環境(1)	農業用水合理化と都市環境の整備を検討する。	
8	地域資源と都市環境(2)	地域資源を活用した地域防災システムを検討する。	
9	農業用水の多面的機能(1)	農業用水の地域用水機能を検討する。	
10	農業用水の多面的機能(2)	環境用水の取得と水利権の意義を検討する。	
11	再生可能エネルギー開発(1)	農業用水の小水力発電利用方式を検討する。	
12	再生可能エネルギー開発(2)	地産地消型小水力発電と農村振興を検討する。	
13	住民参加型地域資源管理	環境・福祉・教育面での資源利用を検討する。	
14	土壌保全と水環境保全	土壌保全と水環境保全対策の理解を深める。	
15	総括		

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

授業初めに担当教員から指示がある。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

授業初めに担当教員から指示がある。

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

授業中に課すレポートの内容（70点）とディスカッションによる理解度（30点）をもとに評価する。

◆その他受講上の注意事項

・メールによる質問や問い合わせについては次の通りとする。

中村好男 (nyoshi@nodai.ac.jp), 三原真智人 (m-mihara@nodai.ac.jp),